

ふくおか & MAFF

2025.9

Vol.72

2025年9月19日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 女性農業委員会会長と意見交換を行いました
- 展示商談会会場で食品関連等事業者に政策をPRしました
- 令和8年度農林水産予算概算要求を公表
- 農林水産物・食品分野に係る米国の関税措置への対応について
- 農福連携に取り組む優れた事例を表彰！「ノウフク・アワード2025」募集中です

女性農業委員会会長と意見交換を行いました

～ 令和6年度農山漁村女性活躍表彰 女性地域社会参画部門(個人) 農林水産大臣賞徳永順子様 ～

みやま市農業委員会会長の徳永順子様と意見交換を行いました。これまでの活動やその想いを伺いましたので、ご紹介します。

お話を伺いました！

農業委員としての特徴的な活動を教えてください

遊休農地の解消です。他機関と連携して、事業を活用しながら、地権者との調整や農地の再生に取り組みました。再生した平場の農地は法人への貸付につながり、そこで栽培された黄からし菜の種を商品化する取組も行われています。また、現在、柑橘中心の山間部の農地再生にも取り組んでいます。南筑後地域（6市2町）の**女性農業委員仲間**で**結成されたネットワーク「えくぼの会」**で情報共有し、知識と知恵を積み上げています。こうしたスモールエリアでのレベルアップにつながる動きが各地域にも広がると女性委員の活動がより豊かになっていくのではと思っています。



徳永順子様

農業を引き継いだ当時、役場やJAに足を運ぶ中、農業委員へ。平成28年に会長に就任し、発言しやすい雰囲気づくり等、女性の視点を活かした運営に尽力。委員歴23年目。山川地区土地改良区理事、みやま市6次化推進地域協議会会長、同市農振地域整備促進協議会会長、南筑後地域農業再生協議会監事等を務め、県内農業女子グループを立ち上げて交流や勉強会を続ける等、幅広く活動。



解消した遊休農地で栽培された黄からし菜

“つながり“を大事にされているようですが、他の活動も教えてください

意気投合した女性農業者と一緒に黄からし菜のマスタードを商品化したり、県外等からお声がけいただく講演等の活動をきっかけに、**お互いの地域の視察やワークショップ開催**を行う等、**交流**を広げています。また、地域のことを考えるために、女性の市議、JA理事や農業者が肩書を越えて**ざっくばらんに話せる機会**を作りました。**つなぐ役目、潤滑油のような役目**の重要性を感じていますし、こうした**人と人とのつながりが人生を豊かにしてくれており、ありがたい**と思っています。

今後の展望やメッセージをお願いします

誰もが、一人では不安だらけで進む方向に迷います。そんな時、周りの仲間のアドバイスに助けられることが多くあります。何かを始める時に、**一人で取り組むよりも複数で取り組んだ方が楽になるし、お互いを助け合うことで、それがお互いの経験値になり次の行動につながる**と思います。私が大切にしているのは、**つながる相手を認め尊重**することです。これからも**自分だけの枠にとらわれず、常にアンテナを張って、皆さんの声や言葉の裏側にあるモノを拾い上げて、より良い提案**ができるように活動を続けていきたいと思っています。

意見交換、ありがとうございました！

展示商談会会場で食品関連等事業者に政策をPRしました

福岡県拠点は、7月24日、全国約1200社の食品関連等事業者が集まる総合展示商談会で、みどりの食料システム戦略、輸出支援策、食品トレーサビリティに関する施策等をご紹介しました。説明を受けた方から、「みどりの食料システム戦略は初めて知った」、「将来的には輸出を考えているが、具体的に何をしたら良いかわからずにいた」、「農業者が減少していく中、食料確保のためにも資本を有している企業が農業や食料生産に関わっていく必要がある」等のご意見を頂きました。今後も様々な機会での政策のPRを行いたいと考えています。



令和8年度農林水産予算概算要求を公表

総額として、対前年度比117.1%の2兆6,588億円、新たな食料・農業・農村基本計画や現下の米をめぐる情勢を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和のとれた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長を実現するための予算を要求します。

▷ 詳細はこちら（農林水産省サイト） <https://www.maff.go.jp/j/budget/r8yokyu.html>

農林水産物・食品分野に係る米国の関税措置への対応について

最新情報、取組状況、相談窓口、農林水産物・食品分野に係る米国の関税措置対策チームの設置等の情報について、サイトに掲載していますので、御覧ください。

▷ 詳細はこちら（農林水産省サイト） <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/250408.html>

▷ **米国関税措置等に伴う農林水産物・食品輸出特別相談窓口**（農林水産省サイト）

九州農政局（経営・事業支援部 輸出促進課） 096-300-6363 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/250404.html>

▷ **米国の関税措置に関する日米合意に係る全国説明会**（農林水産省サイト）

8月22日に開催された説明会の動画及び資料を掲載しています。 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/250825.html>

農福連携に取り組む優れた事例を表彰！ 「ノウフク・アワード2025」募集中です

農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。全国各地で農福連携等に取り組んでいる団体・企業や個人の皆様から取組事例を募集し、優良事例に取り組む団体等をノウフク・アワード2025として表彰・発信します。応募期間は9月30日（火）まで。

▷ 詳細はこちら（農林水産省サイト） <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/250804.html>



【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

